

発掘成果をふりかえって 2025

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 淀水垂大下津町遺跡 伏見区淀水垂町

2021年度から桂川右岸の河川敷で調査を行なっています。2025年度の調査では、室町時代後期から安土桃山時代の防御を意識した堀と考えられる大規模な溝群が見つかりました。昨年度までの調査でも同様の遺構が複数見つかっており、堀で囲ったいくつかの方形区画が存在したことが分かってきました。



発掘調査の位置



2 下久世城跡・下久世構跡・中久世遺跡 南区久世殿城町

調査では、弥生時代から江戸時代の遺構・遺物が見つかりました。弥生時代中期の溝からは、ほぼ完形の壺や水差、甕などが出土しました。この溝は方形周溝墓の周溝の一部となる可能性があります。



3 六波羅政庁跡

東山区山崎町

調査地周辺は、平安時代後期に平家の拠点となり、その後、鎌倉幕府によって六波羅政庁が設置されました。調査では、鎌倉時代の池状遺構や室町時代の幅4m以上の溝が見つかりました。



4 龍安寺御陵ノ下町遺跡

右京区龍安寺御陵ノ下町

調査地は、衣笠山の西南麓に位置します。室町時代中期に龍安寺が建立され、調査地周辺は門前村と称されるようになりました。調査では、室町時代の建物や井戸が見つかりました。



5 植物園北遺跡

北区上賀茂岡本町

調査地は、賀茂別雷神社（上賀茂神社）東側にあり、室町時代に成立した社家町周辺に位置します。調査では、室町時代の大規模な造成と、多数の柱穴が見つかりました。
(京都市文化財保護課の調査)



6 名勝渉成園 下京区下珠敷屋町通間之町東入東玉水町

東本願寺の飛地境内である渉成園では、2015年度から庭園の整備に伴う調査を行っています。広大な印月池に張り出して建つ茶室・漱枕居周辺の調査では、露地に石列や礫敷きが施されていたことが分かりました。



7 桂川関連遺跡 伏見区横大路南島

調査地は、桂川左岸の河川敷に位置します。調査では、江戸時代前半と考えられる石積水制や舟溜り、明治から大正時代の杭列による護岸が見つかりました。いずれも、河川の水流を制御するために造られた構造物です。
(京都市文化財保護課の調査)



8 史跡旧二条離宮（二条城） 中京区二条通堀川西入二条城町

二条城は、徳川家康が造営し、秀忠・家光により大規模な改築が行なわれました。調査では、江戸時代前期の建物の礎石が見つかりました。絵図との対比から、本丸御殿北西部の坊主部屋の礎石にあたりとみられます。



9 名勝仁和寺御所庭園 右京区御室大内

仁和寺御所庭園は、2020年に国の名勝に指定されました。宸殿北側の園池の調査で、現在の汀の下層から江戸時代の洲浜が見つかりました。現在の汀は、明治20年罹災後に小川治兵衛の手により復興されたことが分かっています。